

## 歯原性石灰化上皮腫様の上皮の増殖をみた 複雑性歯牙腫の一例

武田 泰典 菊地 博生  
鈴木 鍾美 大屋 高德\*

岩手医科大学歯学部口腔病理学講座

(主任：鈴木鍾美教授)

岩手医科大学歯学部口腔外科学第一講座\*

(主任：藤岡幸雄教授)

〔受付：1988年3月31日〕

抄録：女兒の上顎右側中切歯部に生じた複雑性歯牙腫の一部に歯原性石灰化上皮腫と同様の組織所見を呈する上皮の増殖巣を認めた一例を報告した。この様な上皮の増殖巣は内エナメル上皮あるいはエナメル髓に由来したと考えられた。歯牙腫にみられる上皮成分の病理組織学的検索は種々の歯原性上皮性腫瘍の組織由来を考えるうえで、有益と思われた。

**Key words :** odontoma, calcifying epithelial odontogenic tumor, histogenesis.

### 緒 言

歯原性の混合腫瘍である歯牙腫は、かつてはその硬組織の形成の程度によって軟性歯牙腫と硬性歯牙腫とにわけて扱われた時期があった<sup>1)</sup>。しかし、その後の詳細な病理組織学的検討によって、軟性歯牙腫とよばれたものは歯牙エナメル上皮腫とエナメル上皮線維歯牙腫とに分類された<sup>2)</sup>。一方、硬性歯牙腫とよばれていたものは歯牙腫に分類され、さらにその組織構築によって複雑性歯牙腫と集合性歯牙腫とにわけて扱うようになった<sup>2)</sup>。したがって、歯牙腫に関する病理学的検索は形成された硬組織に主眼がおかれ、上皮や間葉性組織についての記載は乏しい。筆者らは、従来より種々の歯原性腫瘍に関する基礎的ならびに臨床病理学的検討を進めており、

今回は、複雑性歯牙腫の一例に歯原性石灰化上皮腫様の上皮の著明な増殖巣をみいだしたので、その組織所見を報告する。

### 症 例

症例は10歳の女兒で、上顎右側中切歯の萌出遅延を主訴として来院。X線検査によって、上顎右側中切歯の歯根に接し、歯槽骨中に直径約1 cmで、境界明瞭、不定形の骨様不透過巣が認められた。歯牙腫の臨床診断のもとに、局所麻酔下で摘出手術がなされた。摘出物は線維性被膜に囲まれた硬組織塊であった。

摘出物は組織学的に、不規則な配列をなすエナメル質と象牙質の増生からなり、これらの配列形態から複雑性歯牙腫と診断された(Fig.1)。硬組織間には歯原性上皮を含む軟組織が介在し

A case report of complex odontoma with epithelial proliferation showing feature of calcifying epithelial odontogenic tumor.

Yasunori TAKEDA, Hiroo KIKUCHI, Atsumi SUZUKI, and Takanori OHYA\*.

(Departments of Oral Pathology and Oral Surgery I\*, School of Dentistry, Iwate Medical University, Morioka 020)

岩手県盛岡市内丸19-1 (〒020)

*Dent. J. Iwate Med. Univ.* 13 : 177-179, 1988

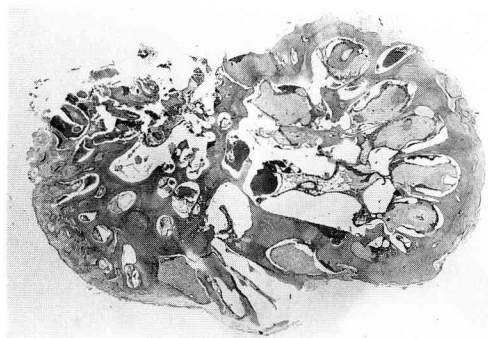


Fig.1 Whole view the complex odontoma surrounded by a thin fibrous capsule.  $\times 7$ .

ている部分もあり、これら軟組織内の歯原性上皮はところによって種々の程度の増殖像を呈していた。この増殖像を呈する上皮は歯原性石灰化上皮腫に類する組織所見を示していた。すなわち、上皮巣は敷石状に配列し、比較的均一な大きさの多角形の細胞からなり、個々の上皮細胞は卵円形で、染色質に富んだ核を有していた (Fig.2a)。また、ところどころで細胞間橋が明瞭にみられた。上皮巣内には同心円状構造 (いわゆる Liesegang 環) を呈する種々の大きさの石灰化物が孤在性あるいは集簇性に認められた (Fig.2b)。上皮巣とエナメル質の接する部分では、円柱状のエナメル上皮と敷石状の配列を呈する上皮とが連続している所見もみられた (Fig.2c)。

## 考 察

歯原性石灰化上皮腫は歯原性腫瘍のなかでは比較的まれなものであるが、その約半数は未萌出歯あるいは埋状歯に関連して生じている<sup>1)</sup>。

したがって、本腫瘍は埋状歯周囲の退化エナメル上皮に由来するものと考えられるが、既存の含歯性嚢胞の上皮から生ずる可能性も述べられている<sup>3,4)</sup>。歯原性石灰化上皮腫の特徴的な組織所見は、円形の核を有する多角形の上皮細胞が敷石状に配列して腫瘍胞巣を形成し、その中に同心円状の層状構造を呈する石灰化物、あるいは好酸性の球状物を種々の程度にみることである<sup>2)</sup>。今回報告した複雑性歯牙腫に随伴してみられた歯原性上皮の増殖巣は、上記の歯原性石灰化上皮腫と同様の組織所見を呈していた。さらに、歯原性上皮の増殖巣はエナメル質に接するエナメル上皮と移行している所見もみられた。これらの所見を呈する上皮増殖巣は、内エナメル上皮またはエナメル髓に由来したものと考えられる。また、この様な所見は、歯原性石灰化上皮腫の組織由来を内エナメル上皮あるいはエナメル髓に求めることを間接的に支持するものである。

今後さらに歯牙腫にみられる上皮成分を詳細に観察することによって種々の歯原性上皮性腫瘍の組織由来を示唆する所見が得られるものと考ええる。

## ま と め

複雑性歯牙腫に随伴して、歯原性石灰化上皮腫と同様の組織所見を呈する上皮の増殖巣を認めた一例を報告した。この様な上皮の増殖巣は内エナメル上皮あるいはエナメル髓に由来したと考えられた。歯牙腫にみられる上皮成分の病理組織学的検索は、種々の歯原性上皮性腫瘍の組織由来を考えるうえで有益と思われる。

**Abstract :** A case (10 years girl) of complex odontoma with epithelial hyperplasia showing a histological feature like the calcifying epithelial odontogenic tumor (CEOT) was reported. Hyperplastic epithelial nests resembling parenchyma of CEOT were found in the lesion, i.e., hyperplastic epithelial nests were composed of polyhedral cells arranged in sheets and strands, and round calcific bodies with Liesegang ring-structure were scattered within the nests. Direct continuity between the hyperplastic epithelial nests with a histological feature of CEOT and an ameloblastic cell layer in close contact with the enamel was noted. It was thought that the present hyperplastic epithelial nests originated from the inner ameloblastic cell layer or stratum intermedium.

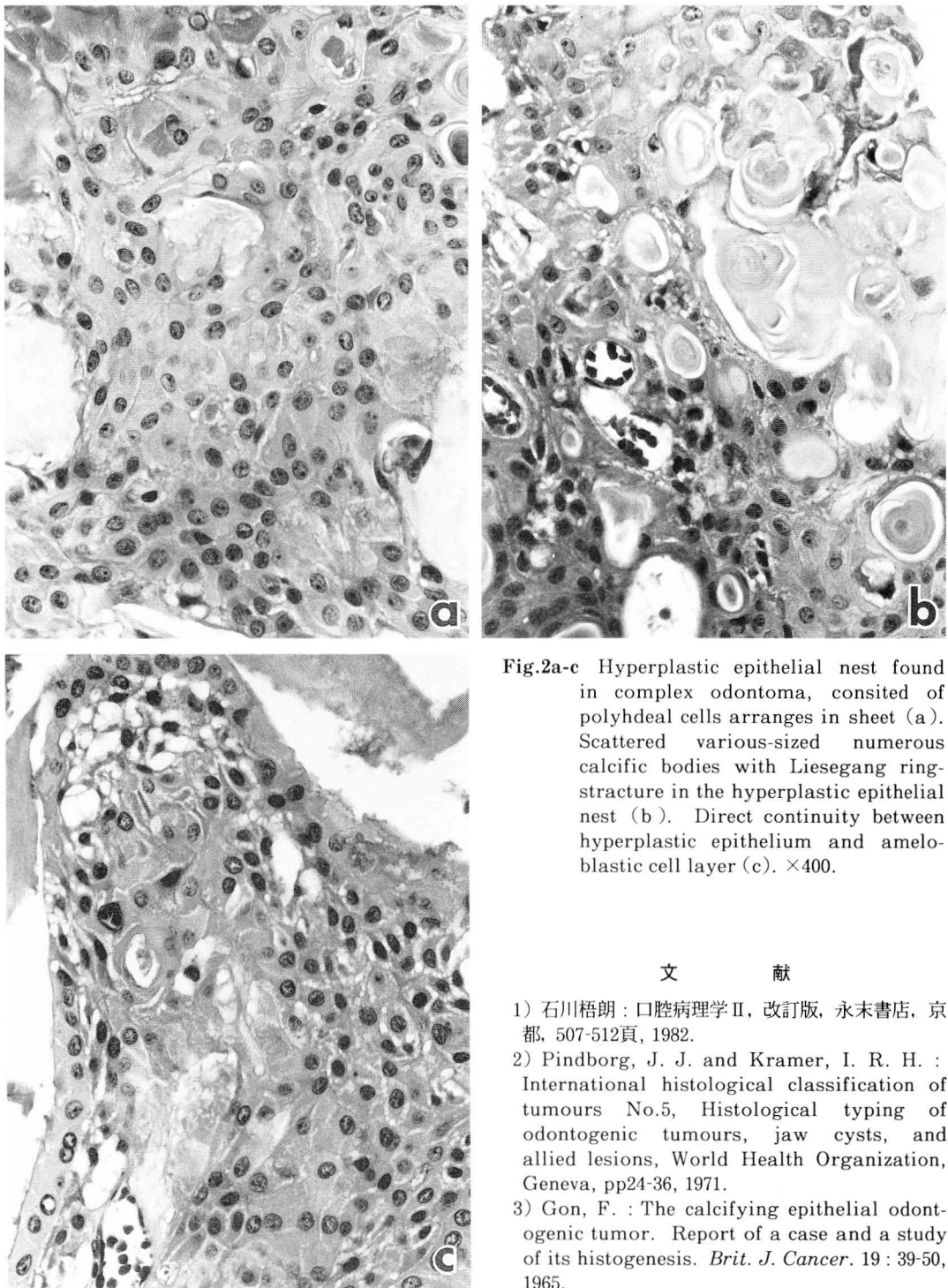


Fig.2a-c Hyperplastic epithelial nest found in complex odontoma, consisted of polyhedral cells arranges in sheet (a). Scattered various-sized numerous calcific bodies with Liesegang ring-structure in the hyperplastic epithelial nest (b). Direct continuity between hyperplastic epithelium and ameloblastic cell layer (c).  $\times 400$ .

#### 文 献

- 1) 石川梧朗 : 口腔病理学Ⅱ, 改訂版, 永末書店, 京都, 507-512頁, 1982.
- 2) Pindborg, J. J. and Kramer, I. R. H. : International histological classification of tumours No.5, Histological typing of odontogenic tumours, jaw cysts, and allied lesions, World Health Organization, Geneva, pp24-36, 1971.
- 3) Gon, F. : The calcifying epithelial odontogenic tumor. Report of a case and a study of its histogenesis. *Brit. J. Cancer*. 19 : 39-50, 1965.
- 4) Pindborg, J. J. : The calcifying epithelial odontogenic tumor. Review of literature and report of an extra-osseous case. *Acta Odontol. Scand.* 24 : 419-430, 1966.